

表1 「未来産業の革新的発展の推進に関する実施意見」における未来産業の重点6分野

	分野	概要
1	製造	スマート製造、バイオ製造、レーザー製造、スマートセンシング、工業分野の「メタバース」（インターネット上の仮想空間）などの発展を推進する。
2	情報	次世代移動通信技術、衛星インターネット、量子情報などの技術の産業化応用と量子コンピューティング技術のブレークスルー、大規模言語モデル（LLM）などの発展を推進する。
3	材料	非鉄金属や化学工業などの先端基礎材料のアップグレード、高性能炭素繊維、先端半導体などコア戦略材料、超電導材料など新材料の発展を推進する。
4	エネルギー	原子力エネルギー、核融合、水素エネルギー、バイオマスなど重点分野に焦点を当て、収集・貯蔵・輸送・応用が一体となった新たなエネルギー設備システムを構築、新型結晶シリコン太陽電池や薄膜太陽電池など高効率な太陽電池、新型エネルギー貯蔵などの発展を推進する。
5	空間	宇宙探査設備、深海作業設備、地球深部の資源探査・採掘設備の研究開発およびイノベーション応用を推進する。
6	ヘルスケア	細胞・DNA技術、合成生物など先端技術の産業化を加速、5G・6G、「メタバース」（インターネット上の仮想空間）、AIなど新興技術を活用した新しい医療サービスの発展とデジタルツイン（注1）やブレイン・マシン・インターフェース（注2、BMI）などの先進技術を利用した先端医療設備およびヘルスケア用品の研究開発を推進する。

（注1）「デジタル上の双子」の意味で、物理的なモノと空間をデジタル上に再現し、シミュレーションや管理などを行う技術。

（注2）脳波などから発信される情報の利用、または脳への刺激などといった方法により、脳と機械をつなぐ技術。

（出所）「未来産業の革新的発展の推進に関する実施意見」を基に作成

ジェットロ「ビジネス短信」添付資料

表2 「未来産業の革新的発展の推進に関する実施意見」で示された代表的な製品とその応用シーン

	製品	応用シーン
1	ヒト型ロボット	スマート製造、家庭サービス、特殊な環境下での作業など
2	量子コンピュータ	量子ソフトウェア、量子クラウドプラットフォームなど
3	新型ディスプレイ	スマートデバイス、スマートコネクテッドカーなど
4	ブレイン・マシン・インターフェース (BMI)	医療リハビリテーション、無人運転、VR（仮想現実）など
5	第6世代移動通信システム（6G）設備	ホログラフィック通信、デジタルツインなど
6	超大型スーパーコンピューティングセンター	大規模言語モデルの反復訓練やアプリケーション推論など
7	第3世代インターネット (Web 3.0) (注)	デジタルID認証システムなど
8	ハイエンドの文化・観光用設備	舞台芸術と娯楽の先端設備、水陸空観光のハイエンド設備、没入型体験施設
9	先端航空設備	スマート空中交通、スマート先端航空物流など
10	深部資源開発用設備	深海石油・ガス海底生産システム、深海多金属塊採掘車など

(注) ブロックチェーン技術を活用した分散型ウェブ。

(出所) 「未来産業の革新的発展の推進に関する実施意見」を基に作成